

柏崎・刈羽地域 稲作だより No.4

コンパクトなイネづくり 粒張りの良い米づくり 穂肥編

R6. 6. 20

- 早生品種の穂肥時期が迫っています。必ず幼穂の長さを確認して穂肥診断を行い、適期を逃さずに施用しましょう。
- 平年より梅雨入りが遅れています。用水の確保状況に合わせて、できるだけ無駄のない水利用を行いましょう。

◇現在の生育状況（6/10調査データ）

（調査区平均）

	草丈（cm）		茎数（本/m ² ）		葉数（葉）		葉色（SPAD）	
	本年	指標値比 （指標値）	本年	指標値比 （指標値）	本年	指標値差 （指標値）	本年	指標値差 （指標値）
コシヒカリ	29	97% (30)	172	82% (210)	6.4	-0.4 (6.8)	34.7	-1.3 (36.0)
こしいぶき	31	115% (27)	356	137% (260)	7.4	0.2 (7.2)	41.9	2.9 (39.0)

○コシヒカリ：草丈「並」 茎数「少」 葉数「やや遅」 葉色「やや淡」

○こしいぶき：草丈「長」 茎数「多」 葉数「並」 葉色「濃」

1 出穂期および穂肥時期

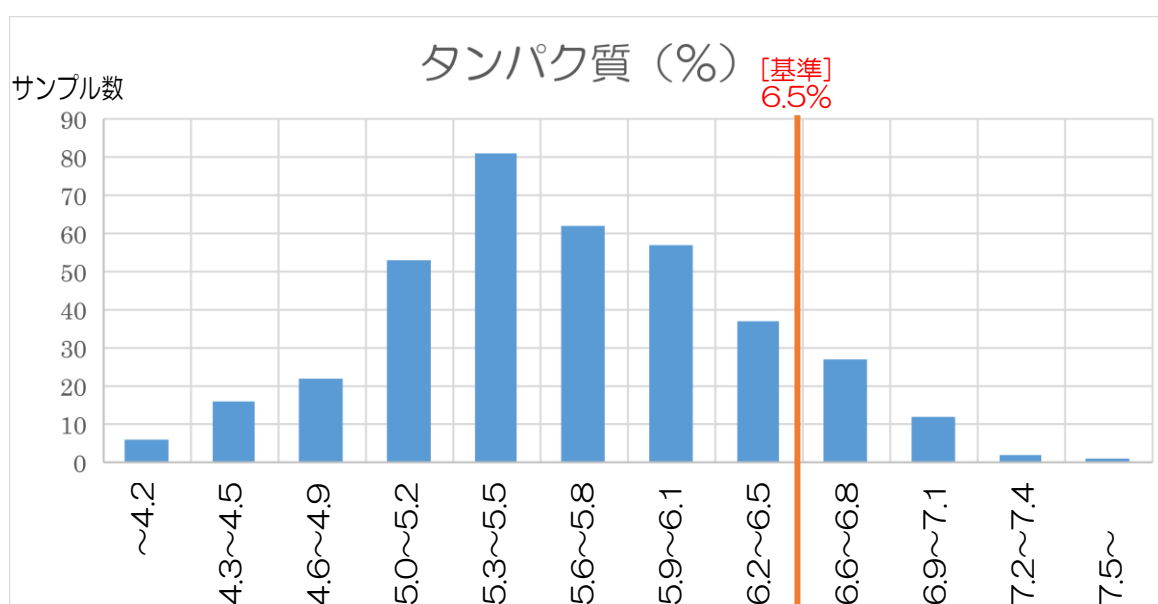
（1）穂肥時期・施用量の目安（施用時期は平年の出穂期から算出）

品種	出穂期 （平年値）	施用時期の目安（出穂前日数）		穂肥施用量の目安	
		1回目	2回目	使用資材（例）	kg/10a（窒素成分）
新潟次郎	7/14	6/19 (25)	6/30 (14)	塩安	1回目：12 (3.0) 2回目：12 (3.0)
ゆきん子舞	7/21	6/26 (25)	7/7 (14)	穂肥520号	1回目：23 (3.5) 2回目：17 (2.5)
こしいぶき	7/25	7/2 (23)	7/11 (14)	穂肥520号	1回目：10 (1.5) 2回目：13 (2.0)
コシヒカリ	8/4	7/17 (18)	7/25 (10)	越後の輝き有機50穂肥	1回目：8~12 (1.0~1.5) 2回目：8~16 (1.0~2.0)

◎早生品種の1回目の穂肥施用は、籾数確保のため適期を逃さず実施しましょう。

◎コシヒカリの1回目の穂肥を施用できなかった場合でも、2回目の穂肥で1.5kg~2.0kg/10a（窒素成分）を施用し、栄養不足が起こらないようにしましょう。

◎令和5年産のコシヒカリは異常高温により登熟期間に栄養不足に陥っていたとみられ、穂肥が不足している状況であったと考えられます。タンパク質含有率は5.3%~5.5%が特に多くなっていました。（右図参照）



令和5年産 JAえちご中越かしわざき管内コシヒカリのタンパク質含有率分布図

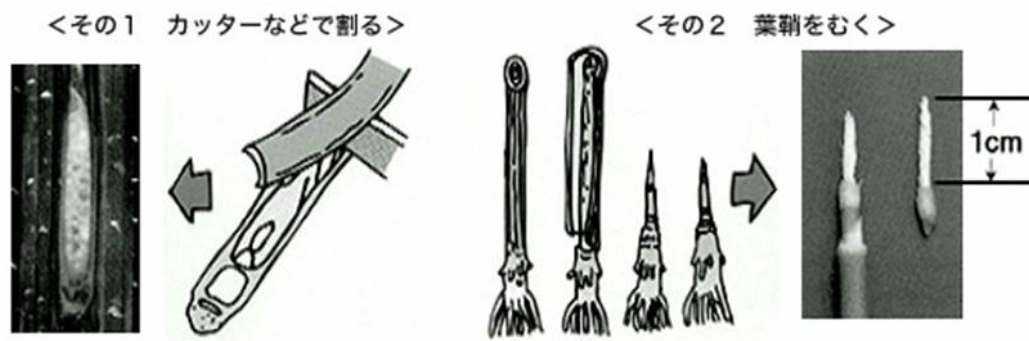
（2）幼穂長と出穂前日数の目安

出穂期予測方法 → 平均的な生育の株の主茎を選び、幼穂の長さを確認する（下表）。

穂肥時期予測方法 → 幼穂長から出穂前日数を推定し、（1）の表から穂肥時期を判断する。

出穂前日数	24日	20日	18日	12日	10日
幼穂長（cm）	0.1	0.4	1.0	4~6	8~11

<幼穂長の確認方法>



- ① 平均的な生育の株を選ぶ
- ② 株の中で一番長い茎（主茎）を選び株元から抜く
- ③ 根元に近いところからカッターで半分に裂き、一番上がっている節の上にある幼穂の長さを測る

2 今後の水管理

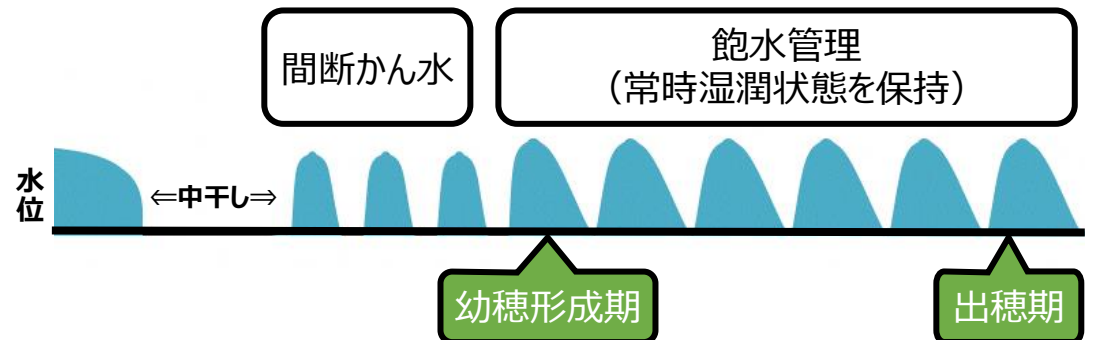
【水不足に対応した中干し】

昨夏の渇水や地震の影響により、ほ場や畦畔にヒビが入り湛水状態を保ちにくいほ場が見受けられます。
 ○強い中干しを行うとヒビ割れが広がり漏水が生じる恐れがあります。ほ場のヒビ割れを広げないように弱めの中干し（小ヒビがはいり、軽く足跡が残る程度）を行いましょう。
 ○天水田などで今後も水を溜めるのが困難なほ場では、無理に中干しは行わず降雨を活用してできる限り湛水に努めましょう。

【中干し以降の水管理】

飽水管理：自然に水が減って田面に水がなくなってきたら再び入水。

※出穂期前後は稲の穂が伸長する大事な時期で水を最も必要としますので、田面を乾かさなような水管理をお願いします。



3 病害虫の発生・対策

【いもち病】

いもち病が発生しやすい地域や品種（葉月みのり、新潟次郎、わたぼうし、新之助など）は予防防除を基本として、葉いもちの発生を確認した場合には速やかに薬剤防除を実施しましょう。

【斑点米カメムシ】

○生態と多発生しやすい条件

- ・カメムシ類は雑草地で増殖し、主にイネの出穂に伴い水田に侵入し、イネの穂を吸汁加害し斑点米を発生させます。
- ・農道や畦畔などにカメムシが好む雑草が多い地域、前年に斑点米被害が多発生した地域、夏期高温の年、極早生・早生品種や割れ粳の多い場合、水田内雑草が多い場合などで多発生しやすくなります。

○対策

- ・農道や畦畔などのメヒシバ、エノコログサなどのイネ科雑草はカメムシ類の生息地となるので種子が結実しない間隔で草刈りを徹底しましょう。
- ・水田内の雑草（ノビエ、ホタルイ）は、カメムシ類を誘引し、その増殖を助長するため、除草を徹底しましょう。

◎ SNS・メールで情報提供しています！

<JA えちご中越柏崎地域営農情報>



アカウント ID : @882qbimy



<柏崎農業普及指導センター メールマガ>



↑詳細はこちらから

ngt111840@pref.niigata.lg.jp

こちらのアドレスに、
 ①件名は「メールマガジン申込」
 ②本文に「氏名」、「電話番号」を記入の上、送信してください。

【お問い合わせ先】

全地区共通

柏崎農業普及指導センター 21-6263

東部田尻・西中通・高柳

かしわざき営農センター 21-0220

南部高田・中央柏崎地区

かしわざき南部営農センター 41-6087

刈羽・西山地区

かしわざき北部営農センター 45-2258

柏崎地域農業振興協議会

柏崎市、刈羽村、新潟県農業共済組合中越支所、えちご中越農業協同組合、柏崎土地改良区
 柏崎農業普及指導センター（新潟県柏崎地域振興局農業振興部）